

5G通信

Vol.44

新型iPhoneが5G普及の起爆剤に

米アップル初の5G対応「iPhone」が正式リリース。待望の5G人気機種の市場投入でインフラ整備が加速し、5G普及の起爆剤になると期待される

5Gスマートフォン(以下、スマホ)の人気機種の登場で沸き立つ5G市場

- 2020年10月米アップルは、5G(第5世代移動通信システム)に対応した新機種「iPhone12」をリリースし、数年ぶりとなるフルモデルチェンジということもあり、世界から注目を集めました。
- 「iPhone12」は、さまざまな面において他機種を上回る性能を有しており、5Gを活用した新たなサービスを前提とした設計となっています。例えば、エンターテイメントや買い物の在り方を根本から変える可能性があるAR(拡張現実)機能などが進化しています。
- 今後競合メーカーは、同機能を踏襲しつつ独自の次世代モデルの開発に着手していくと考えられ、半導体や電子部品などの関連企業はその恩恵の享受が期待されます。

これから5Gスマホは世界的な普及ステージへ

- 韓国サムスン電子が2019年4月に世界初の5Gスマホを発売したのを皮切りに、世界の主要メーカーが5Gスマホを相次いで売り出していましたが、「iPhone12」のリリースにより、5Gスマホが出揃った形となりました。
- 5Gスマホは、比較的インフラ整備や5Gスマホの投入が早かった中国を中心に普及が広がった経緯がありますが、「iPhone12」の登場でここからは先は、iPhoneユーザー比率が高いとされている日本や米国、英国などの先進国を中心に5Gスマホへの買い替えが進み、普及率が高まっていく見込みです。
- 加えて、高いブランド力を持つ人気機種の登場は、5Gインフラ整備の呼び水ともなり、5Gの普及が一気に加速するのではないかと期待されています。「iPhone12」が5G時代を拓く救世主となるかもしれません。

いま話題の次世代通信『5G』に関する
とっておきの情報をご紹介します

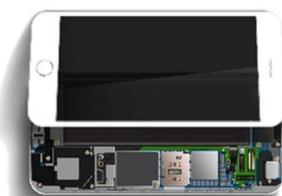


iPhone12に搭載された新技術

標準
装備

有機ELディスプレイ

視野角が広く、高画質。バッклイトが不要で軽量化、薄型化、省電力化を実現



LiDAR*搭載カメラ

より奥行きをリアルに捉えることが可能に。夜間撮影やAR機能が進化

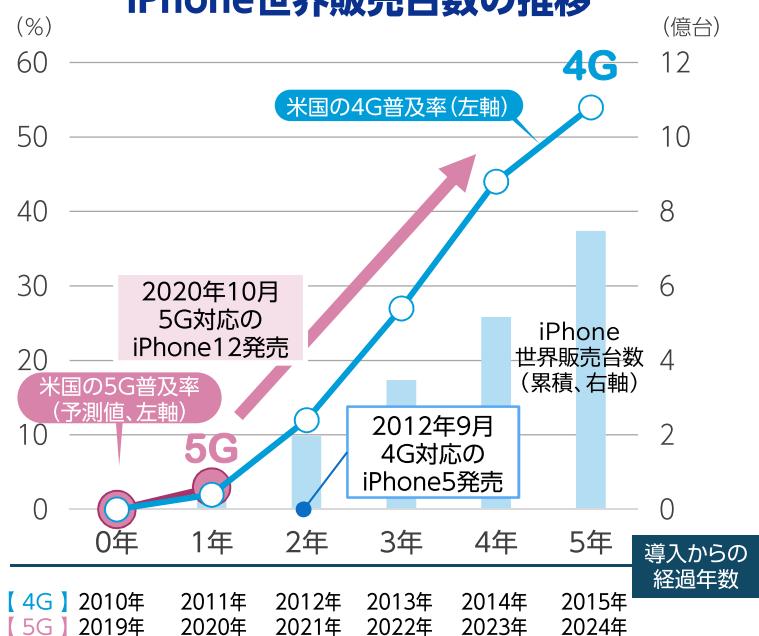


最新プロセッサ

演算能力の向上で、画像処理や機械学習能力が飛躍的に改善
(搭載可能なトランジスタ数は約85億個→約118億個に増加)

*赤外線を用いて物体との距離を検知したり、形状を認識するのに活用される技術
※上記はイメージです。

米国の4Gと5Gの普及率と iPhone世界販売台数の推移



(出所) GSMA Intelligence(携帯通信事業者の業界団体の調査・コンサルティング部門)
「Global Mobile Trends 2017(September 2017)」
Bloombergのデータを基に三井住友トラスト・アセットマネジメント作成



【ご留意事項】

- 当資料は三井住友トラスト・アセットマネジメントが投資判断の参考となる情報提供を目的として作成したものであり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。
- ご購入のお申込みの際は最新の投資信託説明書(交付目論見書)の内容を必ずご確認のうえ、ご自身でご判断ください。
- 投資信託は値動きのある有価証券等(外貨建資産には為替変動リスクを伴います。)に投資しますので基準価額は変動します。したがって、投資元本や利回りが保証されるものではありません。ファンドの運用による損益は全て投資者の皆様に帰属します。
- 投資信託は預貯金や保険契約とは異なり預金保険機構および保険契約者保護機構等の保護の対象ではありません。また、証券会社以外でご購入いただいた場合は、投資者保護基金の保護の対象ではありません。
- 当資料は信頼できると判断した各種情報等に基づき作成していますが、その正確性、完全性を保証するものではありません。また、今後予告なく変更される場合があります。
- 当資料中の図表、数値、その他データについては、過去のデータに基づき作成したものであり、将来の成果を示唆あるいは保証するものではありません。
- 当資料で使用している各指数に関する著作権等の知的財産権、その他の一切の権利はそれぞれの指数の開発元もしくは公表元に帰属します。